

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

特定非営利活動法人 若駒の郷

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「馬と動物とのふれあいようちえん」の野外保育者養成プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

子育て中の保護者と地域社会のつながりが薄く、子育ての情報交換の場、特に多摩地区の保育園においては、土日保育に積極的ではなく、保護者のレスパイト(休息)事業も殆ど実施されていない。「若駒の郷」では福祉乗馬の他に2年前から親子サークルを毎週開催してきた実績があります。若駒の郷には乗馬指導員・社会福祉士・精神保健福祉士等の相談員がいますが、さらに保育分野の相談援助者を養成することで、若駒の郷の自然環境、また動物とのふれあいを通して子育て支援の場として充実を図り、将来的には野外保育の場として地域に貢献することを目的とします。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

野外保育の原点となる「森のようちえん」は 1950 年代に北欧デンマークやドイツから世界に広がった活動で、実際にそこで野外保育を学んできた保育士が常駐する「キープ森のようちえん」(山梨県北杜市)にて、若駒の郷スタッフや野外保育を目指す多摩地区在住者が参加できるプログラムに研修生として参加し、野外活動を通して子どもが育つ上での大切な要素や、保育者としての目線・観点、保護者へのアプローチ手段を学ぶ。さらに来年度は子どもが動物(馬や支援犬、小動物)との心の交流ができ、「馬と動物とのふれあいようちえん」事業(土曜日開催)へ発展させていきたいです。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

実際に「馬と動物のふれあいようちえん」事業を将来行うことを想定し、常に保育者の目線でプログラムに参加することを意識しました。

野外活動時の安全に関することや、保護者が何を求めているのか等、コミュニケーションを通して学ぶことができ実践的に役立つことを学ぶことが出来ました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

地域における子育て環境の充実を目指し、自然が豊かな「若駒の郷」の特質を生かし、また動物とのふれあいを通して得られる心豊かな子どもを育てるといふ若駒の郷にしかできない野外保育を行うことは、地域の発展に大きく貢献できることだと再確認することが出来ました。

今回の助成事業で学んだことを無駄にせず、「馬と動物とのふれあいようちえん」の開園を目指し更に努力してまいります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし



キープ森のようちえん研修レポート

キープ スタッフの皆さんの言葉です。

「子どもっていいよね、いいよね～」って、言い合える時間や仲間が大切だと思います。

そして、10 年来の信頼しあっている仲間(スタッフ)がいるから、子どもたちの導入部分にも時間をかけられます。

始めが肝心と、厳しくするのではなく、思いっきり受け入れるとあとは案外スムーズなんです。

その中にキープを体験していて知っている子がいると『ここは大丈夫、安心できる場所』

と、全身で遊んで笑顔で表してくれるので初めての子どもたちもすんなり入れたりしちゃいます。

カメラマンの篠木さんが「子どもたちって、過去に生きないよね。未来に生きているよね」って、笑って言っていました。

それを私たちもどんどん、先取りして、見守りたいです。

『Shinjo プロジェクト』市民活動公募助成として参加しています。

